

令和5年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	弘前市北辰学区高杉ふれあいセンター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字独狐字山辺72番地1
指定管理者名	弘前市高杉地区町会連合会
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。
2 自主事業の実施状況	6月に健康料理教室を実施した。
3 市民サービス向上のための取組状況	敷地内の草刈り、芝が枯れた跡地に花を植えるなど、環境美化に努めている。また、駐車場の区画線の塗装、避難経路確保のための除雪、雪庇の除去など、環境整備に努めている。
4 市民ニーズの把握の実施状況	アンケート調査により利用者からの意見、希望を把握し、施設管理、運営に反映できないか検討している。
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	令和5年度の利用許可件数は792件、利用者数は12,376人となっており、利用許可件数、利用者数ともに前年度を上回る数値となっている。 (参考: 令和4年度 利用許可件数708件、利用者数10,896人)
6 指定管理業務の収支状況	施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。

7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

8 成果指標の達成度

利用件数: 目標 740件 実績 792件 達成度107.0%
 利用者数: 目標16,500人 実績12,376人 達成度 75.0%

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	施設の円滑な運営管理に留意している。	さらなる職員のスキルアップを図る。
施設の管理	B	利用者の安全対策として設置されたAED操作について定期的に操作方法の確認を行い、いざという時に対応できるよう備えている。	今後も安全対策にしっかりと取り組んでいく。
経理の状況	A	消耗品等の在庫管理を徹底した経費削減、また、施設使用料の払い込みに遅延がないよう努めている。	引き続き経費削減および遅延のない払い込みに努めていく。
団体の財務状況	B	特に問題なし。	特に問題なし。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	アンケート実施により、利用者の意見、要望の把握に努めた。また、自主事業を実施し、施設の周知、利用者増加を図った。	今後も基本的なサービス向上を図るためのアンケートの実施、利用者増加を図るための魅力的な自主事業の実施に期待する。
施設の管理	A	敷地内の草刈り等の植栽管理や、駐車場の区画線の塗装、避難経路確保のための除雪、雪庇の除去など、環境整備に努めている。	今後も利用者の安全のため、設備の保守、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の待遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する